

危険・不便 無人駅81も

日本共産党近畿 ブロック事務所 近鉄と交渉

日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所は24日、近鉄各線と駅の利便・安全性を求めて近畿日本鉄道と交渉しました。いずみ信丈参院奈良選挙区候補、奈良、大阪、京都の近鉄沿線自治体の地方議員らが参加しました。

要望事項として▽無人駅への駅員の配置▽バリアフリーの完全実施▽踏切・危険箇所の安全対策▽地域住民・自治体との協議の実施を求めました。

近鉄は、乗降人数3000人を目安に駅の無人化を進めてきました。現在、近鉄の終日無人駅は81駅(奈良30駅、大阪3駅、三重48駅)で、時間帯によって無人になる駅が奈良17駅、大阪5駅、京都2駅あります。「お金を入れたが券売機が作動せず、困ってインターホンを押してから係員が来るのに30分かかった。友人との約束の時間に合わなかった」「線路に転落し、けがをして助けを呼べなかった。携帯電話で家族に連絡し、間一髪で助かった」参加者は無人駅での事故の実態などを伝え、これ以上の無人化をせず、人員を配置するよう求めました。担当者は、今後、乗降人数3000人以下の駅を一律に無人化する予定はないと答えました。ほかにも、踏切通行時の安全標識の整備や聴覚障害者のためのインターホンの整備、自治体との協議回数を増やすことなどを要望。近鉄側は「自治体との協議は」話をいただいたら対応させていた

要望書を手渡す参加者 24日、大阪市



だく」と応じました。最後に、いずみ氏が「私たちも住民の安全や利便性向上のために力を尽くす」と表明しました。

訂正 昨日付「近鉄と交渉」の文中、近鉄全線の終日無人駅の数に「81駅(うち奈良30駅、大阪3駅)」に訂正します。担当者の回答が「今後、乗降人数3000人以下の駅を一律に無人化する予定はない」とあるのを「現在のところ無人駅を増やす予定はない」に訂正します。